

第8期 第5回一般廃棄物減量等推進審議会議事要旨

日時:令和6年8月2日(金)10:00~12:06

場所:千代田区役所8階 第2委員会室

1 開会

2 議題

「資源循環型社会の形成・推進」

「環境コミュニティの形成・普及啓発と環境学習の充実」

3 その他

【配付資料】

資料1 検討テーマ「資源循環型社会の形成・推進」「環境コミュニティの形成・普及啓発と環境学習の充実」検討事項一覧

井手8 ゼロ・ウェイスタウン徳島県上勝町の資源循環の取り組みと連携(三菱地所)

井手9 廃棄物削減と資源循環(日清製粉グループ)

藤井2 「勉強しないとあなる」暴言に清掃員伝えたい事

崎田3 審議会第5回への意見

資料2 第8期(第1回~第4回)千代田区一般廃棄物減量等推進審議会での意見要約(検討テーマ別)

資料3 第8期「千代田みらいくる会議」からの報告

資料4 第8期審議会スケジュール(修正)

参考資料 第4回審議会の議事要旨

要約

1.開会の挨拶

柳所長が開会を宣言し、崎田座長が議事を進行。

2.議題

「資源循環型社会の形成・推進」

・三菱地所の取り組み

三菱地所がゼロ・ウェイスタウンとして知られる徳島県上勝町と連携し、東京駅周辺の飲食店で生ごみを燃やさずに液肥に変え、その液肥を農作物の栽培に使用し、その野菜を再度飲食店に戻すという循環型社会の事例が紹介された。この取り組みを千代田区でも導入する可能性について議論され、先進的な事例として評価した。

・日清製粉グループの取り組み

日清製粉グループが食品ロス削減を目指し、2030年までに50%削減することを目標とした活動が紹介された。この取り組みは、政府の基準年よりも厳しい目標設定が行われており、千代田区の企業にもこうした取り組みが広がるべきだとの意見が出された。

「環境コミュニティの形成・普及啓発と環境学習の充実」

・小学校での環境学習

練馬区や座間市で行われている清掃職員による環境学習プログラムが紹介された。これらの事例では、清掃職員が小学校で直接ごみの分別や清掃車の操作を教えるなど、子供たちに環境への意識を育てる取り組みが行われています。千代田区でもこうした取り組みを拡大し、より多くの学校や地域で実施することが提案された。

・マンションや商店街でのごみ分別の現状と課題

マンションの管理会社や商店街におけるごみの分別状況が議論された。特に、管理会社や管理組合の質により分別の実施状況が大きく異なることが指摘され、しっかりとした管理体制の重要性が強調された。また、外国人経営者が多い商店街でのごみ問題についても、文化や言語の違いから来る課題が報告され、これに対する適切な対応策が求められた。

・ゼロ・ウェイスト宣言の可能性

千代田区でもゼロ・ウェイスト宣言を行うべきかどうか議論された。上勝町や水俣市などの事例を引き合いに出し、大規模自治体での実現可能性や、その効果について意見が交わされた。宣言を行うことで、区内の各地域や企業が持つ課題を解決するための意識が高まり、全体としてのごみ減量が進むのではないかという前向きな意見が多く見られた。

3.その他

・ごみの捨て方に関する条例化の検討

ごみの捨て方に関する条例化や、罰則規定の導入についても議論された。特に、外国人住民や一部の管理会社の対応が不十分である場合に対して、強制力を持つ措置が必要ではないかという意見が出された。

4.次回の議題

・議事のまとめ

各提案は次回以降の審議でさらに具体化される予定。特に、ゼロ・ウェイスト宣言に関する議論は次回以降に継続されることが確認された。

次回審議会では、今回議論された内容を踏まえて、実際の施策に移すための具体的なプランを検討する予定。